



<火災想定防災避難訓練 2025年5月12日実施>

本校では年に2回、防災避難訓練を実施しています。5月12日に火災を想定した1回目の防災避難訓練を実施しました。

災害避難時には、ヘルメットをかぶるという意識を高めるため、可能な限り児童生徒、職員はヘルメットを着用して避難しました。誰もいない中館1階家庭科室を火元と想定して訓練を行いました。児童生徒全員が慌てることなく運動場へ安全に避難をすることができました。

避難訓練の後は大川広域消防署寒川分署の方のご指導のもと、水消火器を使った消火訓練を行いました。火元を想定した的に向けて消火器の水を上手に放水することができました。

教室に帰った後も、各クラスで避難訓練の反省や「おはしも」など大切な約束ごとを学習し、児童生徒たちも防火や避難に対する意識を高めることができました。

次の防災訓練は、11月に地震を想定した避難訓練を行う予定です。



<避難訓練の様子>



救護所の設置



水消火器による消火訓練



消防署の方からの講話

<実施後の感想>

(職員)

- ・ 非常ベルの鳴る時間が長く怖がる児童生徒もいたが、大きな混乱もなく安全に避難することができた。
- ・ 火元に近かったので、「火事」という声を聞いてすぐに避難することができた。

(消防署より)

- ・ 誰もいない場所から出火した想定での訓練だったが、電気が通っている場所はどこでも火災の危険性（漏電など）があることを意識しておいてほしい。
- ・ 火災の場合は、窓やドアを閉じて、新鮮な空気を入れないようにすること。地震の場合は、窓やドアを開けて避難経路を確保すること。混同しないよう日頃から職員が意識しておくことが大切である。

< もし火災にあったら >

○ 火災で一番怖いものは 煙 です

火災で命を落とす多くの原因は「一酸化炭素中毒」です。避難する時は火災で発生した煙を吸い込まないために

①口と鼻をタオルやハンカチで覆う

②低い姿勢ではうように避難する ことが大切になります。



○ 避難時の約束を守って避難しよう

避難時の約束に「お・は・し・も」という言葉があります。安全に避難するために覚えておきましょう。

「お」… お さ な い (相手を転倒させてしまい、将棋倒しを誘発してしまう)

「は」… は し ら な い (つまずいて転び、怪我をしてしまう)

「し」… し ゃ べ ら な い (しゃべっていると先生などの指示が聞こえなくなってしまう)

「も」… も ど ら な い (煙を吸い込んで再度避難ができなくなってしまう)

おさない はしらない



しゃべらない もどらない



○ 避難の目安


火災が発生した場合、初期消火の目安として炎が自分の目線より高ければ消火は困難、低ければ消火可能と判断できるとされています。しかし、いつ避難したら良いかという明確な基準はありませんので、**炎や煙の勢いが強く危険を感じたらすぐに避難**を開始した方が良いでしょう。

☆「引き渡し確認カード」について

引き渡し確認カードは、災害が児童生徒の在校時に起こった場合に保護者への引き渡しを、確実にするためのものです。

このカードは、小1・小4・中1・高1の各学年で新規作成をし、以後3年間は同じカードを使います。転入生には随時、発行します。大切に保管、携帯をよろしくお願いします。

引き渡し確認カードを失くしたり、持参できなかったりした場合は、引き渡し時に運転免許証、マイナンバーカード等の顔写真入りの身分証明書で確認をさせていただくことにしています。

	緊急時	引き渡し確認カード	
香川県立香川東部支援学校			
TEL 0879-52-2581			
*小4・中1・高1で更新する。			
部			
学年			
氏名			

引き取り人氏名	関係	連絡先

